

教育研究上の目的

メディアコミュニケーション学科は、高度情報社会の多様な情報を的確に判断するためのメディアリテラシーを身につけるとともに、様々なメディアの特性を生かして効果的に情報を表現、発信できる能力を備えて、社会生活の中で主体的に活動することのできる能力を育成する。そして、多様なメディアコンテンツ制作やメディア産業に関わる専門知識、最新のメディア情報技術を学修し、さらにそれら双方を実践的に結びつける企画力・編集力・実行力・分析力を身につけ、メディアに関わる社会の分野で総合的な能力を持ち主体的に活躍できる、柔軟で創造力のある人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

メディアコミュニケーション学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 情報の送受信の基本的なルールや技能を身につけている
2. メディア文化・社会に関わる専門知識に基づいて、その技能を社会でのコミュニケーションに実践的に活用する力を修得する

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（コミュニケーション学）」の学位を授与する。

①知識・理解・技能（技法）・表現

1. パーソナルメディア、マスメディア、ネットメディアなどの役割や影響、社会での利用方法について学ぶ
2. 現代文化・芸術とメディアの関わりについて理解する
3. 活字、映像、音声、ネットなど各メディアの特性を理解する
4. 活字、映像、音声、ネットなど各メディアを使った表現技術を身につける

②思考・判断

1. 情報を集め、取捨選択しまとめる力を身につける
2. メディアを利用した現代文化の意義を読み解き、評価・判断できる
3. 表現したい内容に適したメディアを選び、活用できる
4. 異なるメディアを組み合わせ、効果的な情報発信を企画できる

③関心・意欲・態度

1. 現代社会の諸問題に関心を持ち、問題意識を持つ
2. 諸文化に関心を持ち、理解する態度を身につける
3. 社会の一員としてコミュニケーションに関わる意欲を高める
4. 他者と協働して、問題を解決する態度を学ぶ

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

メディアコミュニケーション学科では、メディアコミュニケーションの基礎力となるメディア理解やメディアリテラシー、また職業人としての基礎力を身につけるために、専門必修領域として「メディア基礎」と「コミュニケーション基礎」を設定する。さらに、メディアに対する知識・理解・分析力の醸成、および情報の創造・編集・発信と企画力・実行力を修得するために、専門選択領域として「メディア社会」「メディア文化」「メディアデザイン」「メディアプロデュース」の各領域を設ける。また、基礎ゼミ、演習、卒業研究のゼミを設定することで、個に応じたきめの細かい教育課程を実現する。そのために、講義で学ぶ理論と演習・実習でおこなう実践の、学びの融合をおこない、達成感を感じさせるとともに総合的な理解が可能になるような教育課程の編成とする。

各領域の学修過程は、次の通りとする。

◆専門必修 メディア基礎

1. メディアの特性を理解し、社会での実践力の基礎を身につける
2. メディアを活用した自己表現力の基礎を身につける

◆専門必修 コミュニケーション基礎

1. コミュニケーションの基礎となる言語、音声、テキストを活用する力を育成する
2. 文化の理解及び情報収集能力・分析力を育成する

◆専門選択 メディア社会

1. 情報社会の仕組みと特性を理解し、主体的に関わる態度を育成する
2. マスメディアと現代社会との関わりや影響について理解する
3. インターネットの特性を理解し、社会との関係を理解する

◆専門選択 メディア文化

1. メディアが生み出す様々な現代文化と日常生活との関わりについて学び、考える力を育成する
2. メディア文化の成り立ちや表現方法を理解し、評価、判断する感性を育成する

◆専門選択 メディアデザイン

1. メディアの特性を活かす表現能力の基礎を学修する
2. 多様なメディアコンテンツ全般に関する知識を身につける
3. 各メディアの表現方法の特徴を理解する

◆専門選択 メディアプロデュース

1. メディアの特性を活かすコンテンツ制作の技術を身につける
2. デザイン、編集、校正に関する専門技術を習得する
3. コンテンツの企画、発信に関する多様な手法を身につける

◆専門選択 資格支援

1. 資格取得に必要な知識、技術を学修する

◆ゼミ

1. 他者と協働して問題解決ができる能力を育成する
2. 調査、分析をおこなう能力を育成する
3. 総合的なメディアリテラシーを育成する

◆卒業研究

1. メディアを使った卒業研究の企画、構成、制作、編集、発表までの一連の作業を行える力を身につける

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

メディアコミュニケーション学科では、次のような学生を求める。

1. 多様なメディアが発信する情報に興味を持っている
2. メディアを主体的に活用して、情報を発信することにも意欲的である
3. 入学後、メディアコミュニケーション学科の理論と実践を融合した学びを通じて、各メディアの専門知識、手法を学修することができる

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 活字、映像、音声、ネット等のメディアに関する知識や技能を修得することに興味があり、そのために必要な基礎知識を身につけている
2. コミュニケーションの基盤となる文章表現力を身につけている

②思考力・判断力・表現力

1. 情報を正確に理解できる
2. 収集した情報を分析し、課題や問題点を的確に指摘できる

③主体性・多様性・協働性

1. 集団作業の中で他者を理解し、自分の考えも伝えることができる
2. 活字、映像、音声、ネット等のメディアを使ったコミュニケーションに積極的に参加する意欲がある